

コンピュータ・リテラシー2006 年度講義内容

担当：茅根・笹原・高橋・千葉・宮脇

題目：ネットワーク環境のもとでのコンピュータ・リテラシーと文書編集・データ加工の基本

本日の内容

- コンピュータ・リテラシーの授業内容
- 利用できるコンピュータとネットワーク設備と利用上の注意
- 利用資格の発行と注意点
- 利用資格の管理
 - ✓ User-ID とパスワード
 - ✓ パスワード管理の注意点
 - ✓ パスワード変更作業のあらまし
- 履修の心構えとパソコンの利用方法

本日の配布資料：計 8 部 (予定)

○資料

- コンピュータ・リテラシー 2006 年度講義内容 (この資料)
- コンピュータ・リテラシー オリエンテーション資料 (スライド資料の印刷版)
- 授業の進め方と学習方法 (補足資料)

○利用規則関係

- 麗澤大学コンピュータシステム利用規程
 - 麗澤大学コンピュータ実習室利用規則
 - 麗澤大学コンピュータシステム利用ガイドライン
- } 裏表印刷

○利用誓約書関係 (次回提出)

- 麗澤大学 コンピュータシステム利用誓約書 (重要！次回提出してもらうので忘れずに持ってくること！)

○その他

- 麗澤大学のコンピュータシステムの利用について

授業内容 (詳しくは『講義要綱』に記載されているシラバスを参照のこと)

1. 情報技術の基礎：コンピュータの仕組み／情報処理の考え方を理解する。
2. 基本的なパソコンの操作：キーボード・マウスの操作など。
3. TypeQuick によるタッチタイピングのマスター。
4. デジタルデータの作成／文章の入力：データや文章の入力の基本、文書の作成など。
5. 情報の収集／加工・分析・蓄積：WWWを使用し、世界中の情報源から必要とする情報を収集し、基礎的な加工や分析をおこなう。
6. 表計算ソフトの基礎：データを表で整理する基本、計算の基礎、グラフの作成などを理解する。
7. 電子メールによるコミュニケーションの基礎。
8. 情報リテラシー一般と情報倫理。

成績の評価方法

- 毎週出される課題の提出（期限を厳守すること。前回の課題を授業時間中におこなわないこと）および授業で実施される小テストの成績
- タッチタイピング能力のマスター（実技試験を実施する。合格の目安は1分間 30ワード以上かつ正確率 90%以上）
- 授業への出席（授業の進度が速いので、連続2回以上欠席するとついていけなくなる。3回以上連続して欠席した場合には単位は認められないので注意。）
- 期末試験の成績

教材・教科書など

- 教材を授業の中で配布する。配布教材は、過去の分も含め持参し、すぐに参照できるようにしておくこと（A4サイズの専用のバインダーを用意し、まとめておくことよい）。欠席等で教材を入手できなかった場合は、各自の責任で入手しておくこと（後日配布は行なわない）。
- TypeQuick Professional（タイプ練習ソフト）：学内のPCにインストール済み。自宅PCで練習した場合には、別に指示する練習用ディスクを購入する必要がある。
- USBメモリ：必要になったら教員が持参するよう指示するので、指示に従って準備すること。**256メガバイト以上の容量をもつものが望ましい**。なお、フロッピーディスクは学生用PCでは利用できないので注意すること。
- 参考書：日経パソコン編『日経パソコン用語辞典 2006年版』日経BP社 2,600円
コンピュータ関連の専門用語は非常に多く、パソコンを扱う場合に必ず理解しておきたい重要な用語も多い。座右において参照することで、授業の理解度をぐんと上げることができるので各自必要に応じて購入してほしい。

コンピュータの利用に関する質問は、ヘルプデスク（1号館 3F）へ

- 設備を利用するときは、センターのスタッフ、TA（ティーチング・アシスタント）、教員の指示に従う。
- 掲示板（1号棟 3階 中央階段ロビー）及び情報システムセンターのホームページ（<http://www.reitaku-u.ac.jp/risc/>）のお知らせ・注意事項をチェックすること。

教員への連絡方法

専任教員（千葉庄寿）

研究室：A棟 204 Tel. 04-7173-3019 E-mail: schiba@reitaku-u.ac.jp

他の担当教員の連絡方法は、授業中に指示があるのでメモしておくこと。

授業ホームページ <http://www.FL.reitaku-u.ac.jp/~schiba/lit/>

来週持ってくるもの： 配布資料（まとめておく）、利用誓約書

- * 利用誓約書はペンやボールペン（鉛筆不可）で記入し持参すること（本人確認に学生証も必要）。忘れるとユーザIDの交付を受けられないので注意。
- * 次回授業でタイプ練習ソフト（TypeQuick）の設定を行う。
- * パスワードを考えてくること。